

横浜市立名瀬小学校 平成31年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

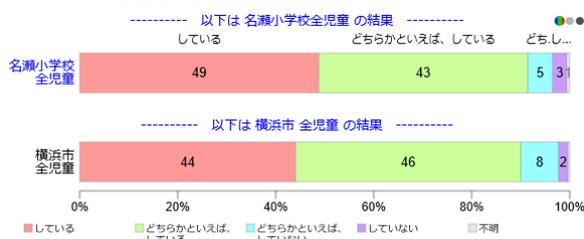
中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・名瀬小学校らしい「社会に開かれた教育過程」を編成します。 ・自分や友達を大切にしながら、自己有用感を育てます。 ・健康や運動に対して、多様な関わり方（知る、見る、支える）を育てます。 ・学校運営協議会等を充実させ、地域の力を活用します。 ・未来に向かっての自分づくり教育（キャリア教育）を進めます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

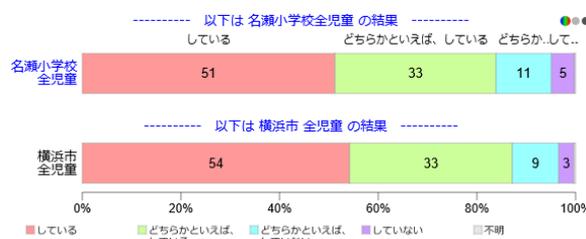
重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①人やまち、社会とのかかわりを大切にした単元となるよう工夫する。 ②子どもの運営委員会や代表委員会、人権委員会を中心として、子ども人権会議やあいさつ運動、なかよし活動などの取組を充実させる。 ③「特別な教科 道徳」で、(B親切・思いやり)の内容項目の授業を、年一回公開する。
担当	道徳部	

2 児童の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

言われてうれしい言葉、言われていやな言葉を理解し、人の気持ちを考えて行動しようとしている。(図1) 挨拶は大きな声でできるが、自分から進んですることが苦手であり(図2)、コミュニケーションをとるのにやや消極的な傾向にある。



(図1)



(図2)

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【総合的な学習の時間を通して】

人やまち、社会とのかかわりを大切にした単元となるよう工夫し、研究授業を行う。

【人権委員会の活動を通して】

人権委員会が主体となり、気持ちのよい挨拶の習慣が身に付いたり、自分や友達のよさが分かり、人に親切にする気持ちの大切さに気付いたりすることができるように、活動の輪を広げていく。

※「あいさつ運動」、「いいところ見付け運動」、「人権会議」等の年間計画を作成し、運営していく。

【道徳教育を通して】

道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育を行う。

※道徳教育全体計画・別葉と連動させる。

道徳の授業で(B親切・思いやり)の内容項目を取り上げ、授業参観で年一回公開する。